

平成 23 年度 学校評価報告書 1 (計画段階 ・ 実施段階)

いずれかを○で囲む

学校名		福岡市立福岡西陵高等学校	学校経営方針・学校教育方針	今年度の重点目標	評価 (総合)	
学校長	ふりがな	よねまる まさふみ	◎目指す学校像 福岡市立の普通科高校として、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成し、幅広い進路選択を可能にする学校 ◎目指す生徒像 校訓「誠実・協力・創造」を具現化する生徒の育成 ◎教育方針 (1) 基本的な生活習慣の定着及びコミュニケーション能力等の育成 (2) 進路保障の観点に立った学習指導、生徒指導、進路指導の一体的な推進 (3) 自主的自発的な態度の育成 (4) 人権尊重の意識や差別をなくす力の育成	(1) 基本的な生活習慣の確立 (2) 確かな学力の育成 (3) 進路実現に向けた取り組みの充実 (4) 人権教育推進委員会、教育相談委員会等の組織的取り組みの一層の充実を図り、教職員の共通理解の上に、人権教育、特別支援教育、中途退学防止などを推進する。 (5) 適切な生徒への指導・助言を行うことにより、生徒会を中心とした生徒による主体的・自主的な学校行事(西陵祭、体育祭など)を実施する。 (6) 部活動が学校の活性化や生徒指導に果たす役割は大きいものがあり、活動の充実を図るとともに、部活動への加入を奨励する。 (7) 広報の充実・強化を図り、本校の魅力や取り組みを積極的に発信する。	学校自己評価	学校関係者評価
	氏名	米丸 政文				
校長本校在籍年数		2年				
学校関係者 評価委員会 委員長	ふりがな	にしうら ただし				
	氏名	西浦 忠				

昨年度の成果と課題 昨年度も、教科指導、進路指導、生徒指導の充実と改善に取り組み、進路実績の向上、生活規律の向上、特別支援教育に関する共通理解と支援協力体制など、毎年着実に成果が上がってきている。昨年度の総合評価がB段階であり、今年度はさらなる向上を目指して、各評価項目の課題解決に努めるとともに、目指す学校像及び目指す生徒像を明確にししながら、特に広報の強化・充実を図るなど、生徒の進路実現に向けた各部・各教科の取り組みを充実発展させる。

評価項目	目標及び具体的な方策等		学校自己評価	取組状況・成果・課題	学校関係者評価	学校関係者評価委員会からの意見等	今後に向けての方針・改善点
	目標	具体的方策					
教育課程・ 学習指導	確かな学力の定着及び幅広い進路選択ができる学力の向上を目指すとともに、新学習指導要領を踏まえた教育課程の編成を行う。	校内授業研究(教員相互の授業参観)及び授業評価を行い、指導力の向上を図り、授業の工夫改善を行う。 習熟度別学級や習熟度別授業、特編授業の今後の在り方について検討するとともに、授業時数の確保に継続して努める。					
	生徒の「生きる力」を育成するため、「総合的な学習の時間」の充実を図るとともに、基本的な生活習慣の確立及び定着させるための学習環境の維持・改善に努める。	総合的な学習の時間検討委員会で、平成24年度入学者からの総合学習の内容改善のための取組を行う。 出席改善指導等により欠席・遅刻等の減少に努め、成績不振生徒への指導を強化するなど中途退学防止を図る。					
生徒指導	生徒の基本的な生活習慣の確立及び定着を図り、挨拶等の礼節や規範意識の育成・向上を目指す。	全職員による出席改善指導及び風紀改善指導を継続し、保護者と連携し、指導対象生徒を各2名及び3名以下にする。 校門指導及び生徒集会等において、規律や礼儀を重んじる指導を行うとともに、善導指導内規を見直しを行う。					
	学校行事を中心に、部活動や生徒会活動においても、生徒の主体的かつ積極的な活動を推進する。	生徒会を中心に、学校行事を通して生徒の積極的な参加を促し、生徒の自主性・協調性を育む。 部活動生徒を通して、他の生徒の模範となる生徒の育成を図り、活気のある学校づくりを行う。					
進路指導	授業、課外補習、対外模擬試験等を通して生徒の学力の向上を図るとともに、大学等の見学や体験学習を積極的に推進し、広い視野から進路選択ができる生徒を育成する。	大学入試センター試験の受験体制の充実を図る。 進路実績及び模試結果等を分析・検討するとともに、課題等の解決により学力向上を目指す。					
	生徒が幅広い進路選択ができるよう進路に対する目的意識を高めるとともに、3年間の計画的・組織的・継続的な進路指導を行い、生徒の進路実現を図る。	大学での体験講座の実施やオープンキャンパス等への積極的な参加を促し、生徒の進路意識を高める。 英語検定や外部実施の模擬試験の受験督促のため、受験案内や詳細情報を各部署で連携して提供する。					
特別支援教育	特別支援教育に関する共通理解と推進及び支援体制の確立を図る。	特別支援学校との交流内容をさらに充実させるとともに、校内外研修等の内容を報告・還元するなど教職員の共通理解と意識の向上を図る。 教育相談委員会を中心に教育相談機能を充実させるとともに、校内の特別支援体制を整備する。					
	障がいのある生徒や課題を抱えた生徒に対する理解と支援の充実を図る。	障がいのある生徒の支援を通して、障がいに対する理解を深め、支援会議で支援の充実を図る。 生徒の変化の早期発見に努め、気になる生徒の支援を充実し、不登校・中途退学者を減少させる。					
開かれた学校づくり	保護者・地域・異校種(近隣小中特別支援学校)との連携協力を深める。	保護者会、進路説明会、西陵祭、体育祭等の学校行事への保護者や市民の参加者を増やす。 西陵会(同窓会)やPTAとの連携、保護者会や三者面談・授業参観等により保護者との連携協力を深める。					
	中学生等に向けた広報活動を積極的に行い、本校の教育活動や実績等をアピールする。	広報推進担当メンバーを中心に広報活動を充実・強化し、中学生や地域に対し積極的な広報活動を行う。 学校ホームページの更新及び内容の充実を図るとともに、月1回以上の更新をめざす。					

※ 学校自己評価は、5段階評価(S…目標を大幅に上回る達成度、A…目標を上回る達成度、B…目標どおりの達成度、C…目標を下回る達成度、D…目標を大幅に下回る達成度)で成果や取り組み状況等について記入すること。
 ※ 学校関係者評価は、学校自己評価について5段階評価(S~D)で評価すること。